

「みがき合い、支え合い、心豊かでたくましく生きる生徒をめざす」 【5月の振り返り】

◎「ゴール」を描く→「ねらい」を意識した具体的な「ゴールの姿」！

4月からこれまでは、目標を設定することに力を注いできた。学級目標や学年目標、委員会、部活動等、それぞれの集団での目標を設定してきた。目標は目指すゴールである。現状を変え、向かっていくところである。だから設定することそのものに意味がある。それが適切かどうかは、ステップ④以降にかかってくる。

＜現状を変えるためのPH-P（フェイズド・プランニング）マネジメント手法＞

- | | | |
|----------------------------------|---|------------------------------|
| ステップ①：「現状」把握（どこにどのような問題があるのか？） | } | ・・・Plan |
| ステップ②：「原因」特定（その問題は何が原因で起きているのか？） | | |
| ステップ③：「目標」設定（何をいつまでに達成するのか？） | | |
| ステップ④：「手段」選択（目標を達成できる手段は何にするのか？） | | |
| ステップ⑤：「集団意思」形成（①～④を共有できたか？） | | |
| ステップ⑥：「実施」確保（手段が期限内で確実に実行されたか？） | | ・・・Do |
| ステップ⑦：「結果」と「目標」の比較（結果と目標のずれは何か？） | | ・・・Check |
| | | （⑦のズレが①となりサイクルができあがる。・・・Act） |

マネジメントが上手くできないのは、現状の何をいつまでにどう変えていこうとしているのかがよくわからないときに表れる。つまり①～③の甘さである。引き継ぎが不十分なために①が把握できない、②を特定しないまま動き出す、③がスローガンので抽象的なままで終わっている、といったところが大きな原因がある。正確に現状を把握し、原因を十分に特定した上で、達成可能な具体的な目標が設定されれば、教育計画が確実に実行されていくのである。

※「やる気が出ない！」

「やる気が出ない」のは、やる気を出して何をすることがはっきりしていないからである。昨日と同じことを続けてやろうとしてもやる気にならないのは当然。ところが今を変えるために、目指すもの（目標・手立て）をはっきりさせていくとモチベーションは高くなっていく。部活の練習でも同じメニューがルーティンのように繰り返されていたらモチベーションはなかなか上がってこない。目標を具体的に設定し、それに近づけるための練習メニューを考え、新たに取り組もうとすると気合が入るものである。年度初めは、環境そのものが変わっているので高いモチベーションが維持される。その中で目標をしっかり設定するから行動化されやすくなり、前向きに取り組んでいるのである。その時期を過ぎた時に大きな差が生まれるのである。課題に気づき、原因分析し、新たな目標を設定し、具体的に取り組み、評価する、このスパイラルが構築されると落ち着いてくる。

白山中のスタートがやる気に溢れ、落ち着いた雰囲気の中で進んでいるとすれば、それは、それぞれの担当者が適切に目標を決めたことに起因していると考えられる。この雰囲気を維持するためには、その時々課題をしっかりと把握し、その課題を解決するための具体的な手立てを適宜設定し、現状を変化させていかなければならない。

今の学級の課題は？今の学年の課題は？今の学校の課題は？今の委員会・部会の課題は？今の部活の課題は？今のご自身の課題は？これらの課題を意識することが、新しい一歩を確実に踏み出すために必要なことなのです。